

2つのハザードマップを確認して水害に備えましょう

1 想定している水害が異なります。

下水道内水^{ないすい}ハザードマップ

短時間の大雨
(ゲリラ豪雨などの局地的大雨)

「下水道の内水」・・・
雨水が下水道や水路
から排水しきれずに
地上にたまる浸水

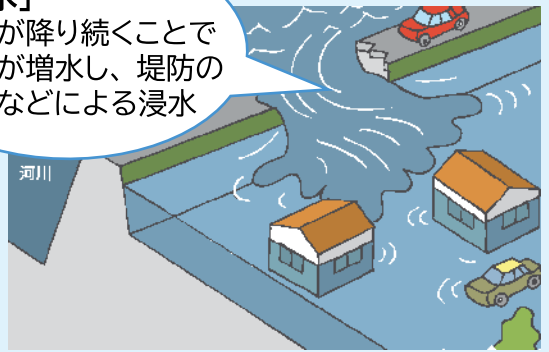


内水のイメージ

洪水・土砂災害ハザードマップ

長時間降る大雨
(台風や線状降水帯などの集中豪雨)

「洪水」・・・
大雨が降り続くことで
河川が増水し、堤防の
決壊などによる浸水



洪水のイメージ



⚠ 対象としているエリアが異なります！

- ・ **下水道内水ハザードマップ** は、雨水と汚水(生活雑排水)を合わせて処理している区域を主として、下水道で雨水対策施設を整備している区域を対象としています。
- ・ **洪水・土砂災害ハザードマップ** は、市全域を対象としています。

裏面へ

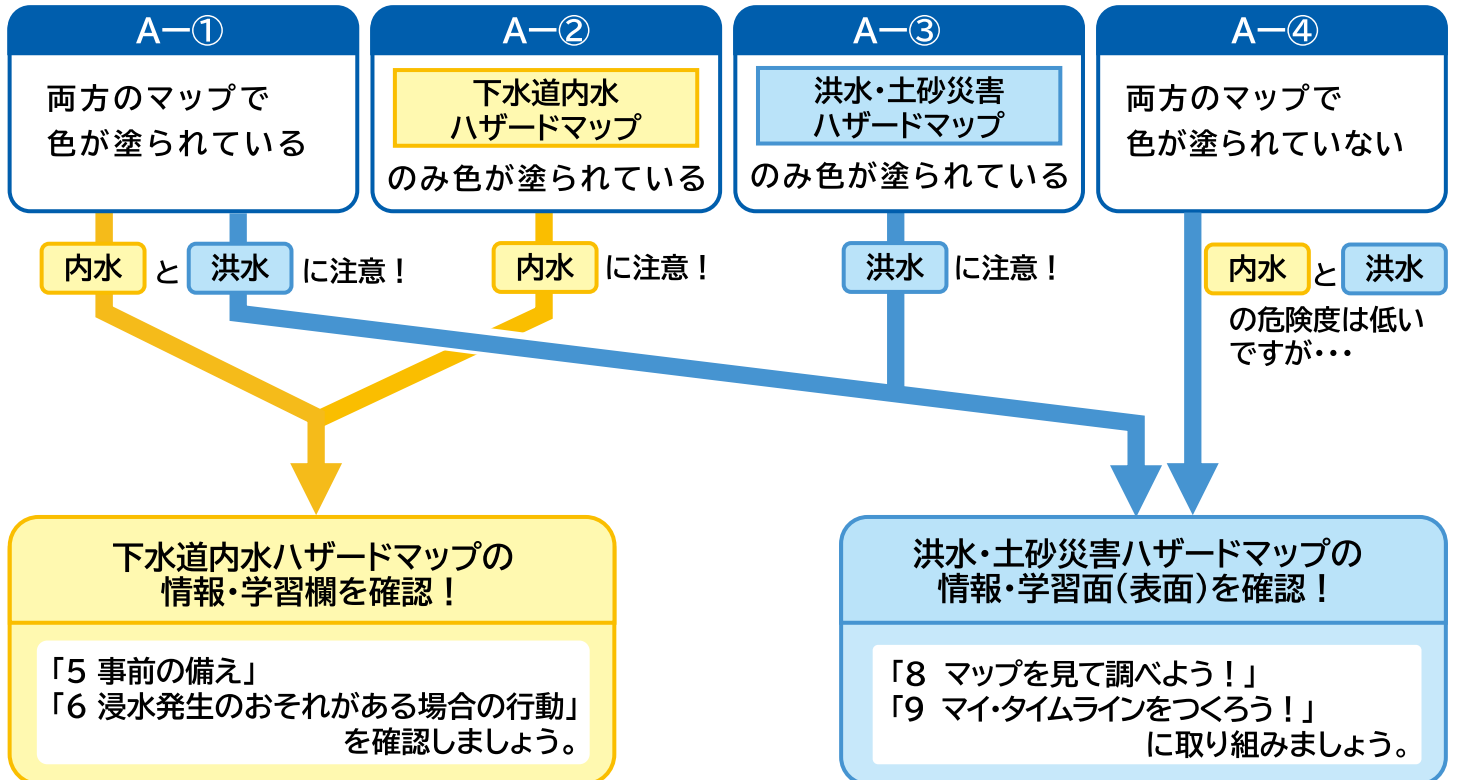
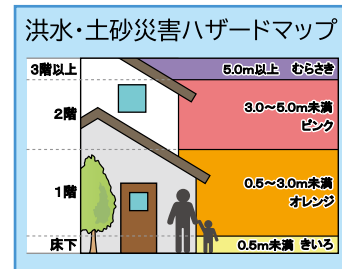
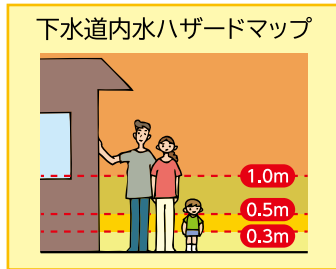
福井市

2 ハザードマップの使い分け

下水道内水ハザードマップの裏面(想定最大)と、洪水・土砂災害ハザードマップの裏面(基本想定)の両方を確認してみましょう。



Q 両方のマップの裏面では、自宅や勤め先、学校及び通勤、通学路等に色が塗られていますか？



土砂災害も確認！

洪水・土砂災害ハザードマップで土砂災害のおそれがある区域を確認し、「8 マップを見て調べよう!」、「9 マイ・タイムラインをつくろう!」に取り組みましょう。